

ユニアデックス 課題設定ワークショップ

ITインフラ環境をめぐる課題を整理し、どこから着手すべきか提案

Before



ITインフラ環境全体に課題が点在してしまっていて、
何から手を付ければいいのか分からない

何ができていて、何ができていないのか、
全体像が把握できていない

課題があるのは分かっているが、
どのレベルまで改善すればいいのか分からない

After



多様な課題の中で何を優先的に
解決すれば良いか分かった

現状の課題などをまとめた形で
整理できたので良かった

外部から意見をもらうことで、
重要性や緊急性などの観点から気づきを得られた

「現状のITインフラ環境を改善したい。しかし、どこから着手すべきか分からない」— ITインフラ環境をめぐる課題は多様で煩雑です。デバイス管理や社内ヘルプデスク運用、業務の属人化や全社的セキュリティの見直しなど、どの課題を優先し、どのように対処すべきか、その判断は容易ではありません。

「課題設定ワークショップ」では、お客様の業務やITインフラ環境における課題を抽出し、それに対して施策案を提示します。また、課題解決の目的と方針を明確にした上で、取り組むべき課題の優先度を提案します。これにより、お客様が抱える膨大な課題のうち、まず何から着手すべきか、それをどうすれば解決できるのか明確になります。

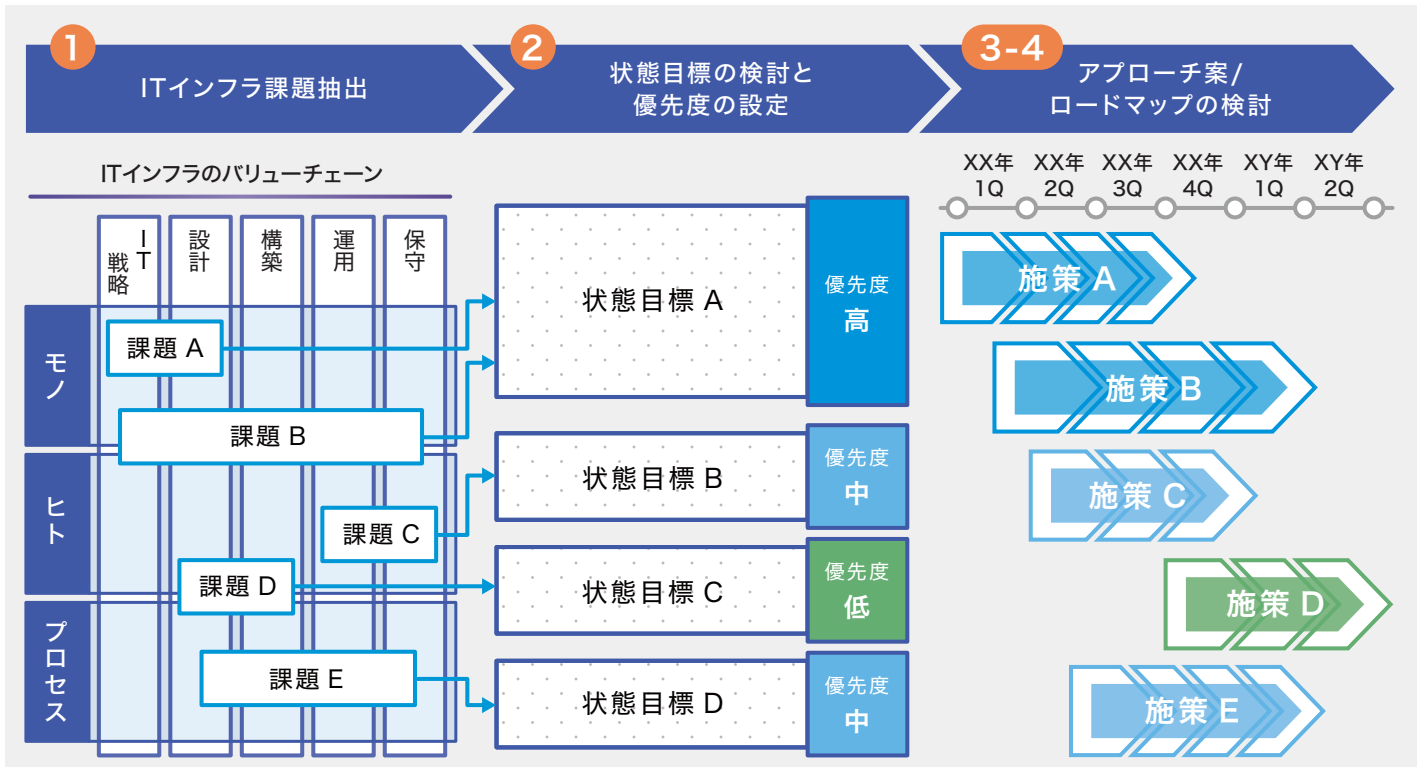
「課題設定ワークショップ」の特徴

- 「課題設定ワークショップ」は、短期間で手軽に利用できる点が特徴です。
- ワークショップは2時間×4回の計8時間、期間にして約1～2ヶ月で終了します。
- 課題全体を整理し優先度付けを行うことで、目についた問題をモグラ叩きのように対応する対症療法のスパイラルから脱するきっかけとなります。



「課題設定ワークショップ」の流れ

- 課題抽出のフレームワークを用いて、さまざまな視点から課題を抽出します。
- 解決すべき状態目標 (ToBe像) を検討し、優先度を設定します。
- 状態目標の達成に向けたアプローチ案とロードマップを検討します。



「課題設定ワークショップ」のメリットと効果

- 課題の分類や影響範囲が体系立って整理される**
 - ▶ お客さまのバリューチェーンに沿って課題を整理することで、その課題がどのフェーズでどれくらいの影響を及ぼしているのか明らかになります。
- 優先して取り組むべき課題の順序が明確になる**
 - ▶ 整理した課題に対してお客さまが目指す状態目標を設定し、優先度の判定を行うことで、どの課題から対応すべきか判断できます。
- 課題解決に向けたシナリオや計画が見えてくる**
 - ▶ 優先度が高い状態目標に対して、改善施策案やロードマップを示すことで、状態目標の実現に向けて今後どのように課題に対応すれば良いか分かります。

UNIADDEX

ユニアドデックス株式会社

UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 〒135-8560
TEL 03-5546-4900 (大代表)
URL <https://www.uniadex.co.jp/>

Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
Telephone: +81(3)5546-4900
URL: <https://www.uniadex.co.jp/>



Webサイトでも
商品・サービスの
情報提供中

Copyright© 2021 UNIADDEX, Ltd. All rights reserved.

関西支店 TEL06-7178-0211 中部支店 TEL052-204-6850 九州支店 TEL092-473-3003
北海道営業所 TEL011-558-1900 東北営業所 TEL022-261-9217 新潟営業所 TEL025-247-7600
静岡営業所 TEL054-272-4722 長野営業所 TEL026-238-7502 北陸営業所 TEL076-233-9850
中国営業所 TEL082-242-5088 四国営業所 TEL087-821-1511

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。

010901699-0 72103 (500)